

令和2年11月6日
第4回国分寺市障害者施策推進協議会
資料2

第4次国分寺市障害者計画等（案） に係る意見（概要）

国分寺市 福祉部 障害福祉課

| 項目 | 意見の内容（概要） | 委員名 |
|-----------------|---|-------------|
| 前回計画の振り返り | 前回計画のことを振り返ってまとめて、それを生かしながら、次の計画に対する課題を書いていることはいいと思う。 | 大塚会長 |
| 答申の反映 | 今までの障害者計画を評価している答申書については、委員意見が盛り込まれており、次の計画にどのように反映したか説明したほうがいい。 | |
| 施策の体系 | 基本理念の次に、戦略があって、最後に戦術という順番になるため、プランの立て方を整理したほうがいい。 | 松友委員 |
| 基本目標 | 障害の見方が医療モデルから社会モデルに変わるとともに、社会の支援環境の中で障害を一体的に捉えていくことが常識化している中で、自分らしいという情緒的な表現ではなく、より具体的な表現をしたほうがいい。 | |
| 相談支援体制の充実 | サービス等利用計画を作るに当たり、緊急時に対するケアプラン等も検討してほしい | 地域自立支援協議会委員 |
| 指定特定相談支援事業の体制整備 | 相談支援専門員数の令和5年度目標値が30人となっているが、実際に果たせている役割を考えると、足りているのか疑問に感じる。 | 柴田委員 |
| 障害者地域自立支援協議会の運営 | 各専門部会はあるが、市内に増えてきたグループホーム間でも連携が必要と感じる。特に、コロナ等感染症の問題が発生した場合、各グループホームが連携・協力していかないと、対応できない問題もある。この機にグループホームの連携を果たせるような部会の機能も考えてほしい。また、居宅系の部会も必要と感じている。 | |
| 副籍制度 | 副籍制度自体が使いづらく、希望を出したくても希望を出せないという実態があるため、そのことを踏まえ内容を検討してほしい。 | |

| 項目 | 意見の内容（概要） | 委員名 |
|-------------------|--|-------------|
| 障害者雇用の促進 | 障害者雇用の充実については、精神障害の方であれば短時間の雇用，知的障害の方であれば補助的な業務の切り出し，肢体不自由や病弱の方であればテレワークなど，各障害に応じた就労環境を整備する取組が必要となるため，そのような内容も検討してほしい。 | 宮崎委員 |
| | 市での知的障害や発達障害の方に対応できるような仕事の切り出し等については，今後に期待している。 | 青柳委員 |
| 避難行動要支援者の支援 | 制度自体を把握していない方もいるため，情報の周知に努めてほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |
| くぬぎ教室 | ステップアップ教室の利用者が少ないため，事業を見直してほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |
| ピアカウンセリング支援 | 相談に力点を置くということであれば，「ピアカウンセリング」という表現でいいかと思うが，当事者同士で理解して助け合うということに力点を置くのであれば，「ピアサポート」という言葉を使ったほうがもっと広がりがあると感じる。 | 伊佐副会長 |
| | 活動の場の確保，活動内容について，支援内容を具体的に示してほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |
| その他 | 成人してから精神疾患が出るなど，大きくなってから障害が分かった際に，本人だけではなく，保護者の方も戸惑うことがあるかと思うので，そのような支援についても記載があったほうがいい。 | 中西委員 |
| 福祉施設の入所者の地域生活への移行 | 自閉症があつて行動障害が激しい人や重症心身障害の人などは，なかなかグループホームに入れず，やむを得ず施設入所することもあるかと思うので，地域での受け入れ体制をさらに整備する必要がある。地域移行については，国分寺へ戻るという視点ではなくても，現在住んでいる施設の近くの地域に移行をする人の希望もあるかと思うので，施設への訪問回数を増やし，関係を築くなどもう少し積極的に取り組んでほしい。 | 柴田委員 |
| | 地域生活へ移行するために，社会資源など何が必要となるのか明確にし，受入体制の充実を図ってほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |

| 項目 | 意見の内容（概要） | 委員名 |
|--------------------------------|--|-------------|
| 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 | 国の基本指針では、退院後1年以内の地域における生活日数の平均を316日以上とすることを求めているが、この前提では、退院することは難しいと思う。退院後でも、何かあったときには、また入院できるという体制が必要と感ずるため、市の目標設定では、病院と地域が連携して柔軟に対応していくことで少しでも退院できる体制を整える旨を入れたほうがいい。 | 中西委員 |
| 児童発達支援センターの設置 | 国分寺市としてどのような機能が児童発達支援センターに必要なをしっかりと精査し、取り組んでほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |
| 相談支援体制の充実・強化等 | 活動指標の助言回数等が3年とも同じ数字となっているが、非常に重要なところのため、もう少し力を入れて数値目標を出してほしい。 | 柴田委員 |
| 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築 | 様々な形態の法人がグループホームをはじめとした障害福祉サービスに新規参入してきているため、虐待等が起こらないようサービスの質の向上に努めてほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |
| 障害福祉サービスの見込量 | グループホームは増えているが、日中活動系サービスが併設されたグループホームも増やしてほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |
| | 高齢化が進んでおり、訪問系サービスの必要性も増加していることから、見込量もその内容を踏まえて、算定してほしい。 | 地域自立支援協議会委員 |